

## 心に残る文化財子ども塾 学習指導案

日時 平成25年6月18日(火)

対象 大田市立池田小学校5, 6年生13名

1, 主題名 土器や遺跡が伝えている先人の生活を考えよう

2, ねらい

○島根県の遺跡や出土物について知ったり、土器づくりなどの体験活動をしたりすることを通して、遺跡が伝えるふるさとの姿や先人の知恵を感じることができるようにする。

3, 展開

時間	学習活動	指導者の支援	備考・準備等
9:45	1, オリエンテーションおよび講師紹介	・見通しを持って学習できるように、学習の流れと講師の紹介をする。	PC, 大型テレビほか
9:55	2, 遺跡や古墳とはどういうものかを知る。	・工事や造成で発見されることを伝える。 ・三瓶埋没林遺跡や加茂岩倉遺跡などを例に、遺跡や古墳が太古の歴史を今に伝えていることを理解できるようにする。	島根県全図 遺跡写真 ・三瓶埋没林 ・加茂岩倉遺跡 ・神庭荒神谷遺跡 ・石見銀山遺跡
10:10	3, 島根県に残る遺跡やそこから出た出土物を知り、古代のふるさとや人々の生活について考える。	・出雲地方特有の古墳の形や、大量に出土した銅剣・銅鐸の存在から、出雲地方に大きな「くに」が存在したことを伝える。	歴史年表 古墳の分布図
	<b>【休憩】</b>		
10:30	4, 土器づくりをする。 ・作り方を知る。(20分) ・土器づくりを体験する。(60分) ・模様付けをする。(30分)	・土器は当時の生活を伝える、一出土物であることを伝える。 ・土器づくりの方法について知るだけでなく、製作を通して古代人の苦労や生活の知恵、土器の有用性について考えることができるようにする。	土器づくり資料 土器完成品 粘土、粘土板、水入れ、施文具、施文の写真パネル
12:20	5, アンケートを記入して、感想を発表する。		

準備物：PC、大型テレビ、島根県全図、遺跡写真、土器づくりに係る資料および材料